

愛してやまない 私の地元

今月は総務部の大川が西荻窪をご案内します。中央線沿線といえば中野ブロードウェイを抱え、サブカルチャーで有名です。西荻も、アンティークショップ、雑貨屋、カフェ、飲食店等、ちょっと気になる変な面白い店が多い見どころ満載の街です。

そして、荻窪～西荻窪～吉祥寺は“おに吉”とも呼ばれ、古本屋が集結するエリアです。西荻の駅付近にある、小さくとも個性豊かな書店を紹介いたします。

1)「ナワプラサード」

南口近くのほびと村3階にある本屋です。西荻を語る上で欠かせない場所、70年代カウンターカルチャーの岩と呼ばれている「ほびと村」です。西荻に面白い店や趣味人が多いのは、この「ほびと村」があるからだと思えますよ。その中でも特に、このお店、引き戸の扉を開けた瞬間から独特の世界観に浸れます。棚は「産む」「育てる」「癒す」「耕す」など、動詞のコーナーで分けられており、文庫本も大型本も一緒に並んでいます。

今日の地元 杉並区西荻窪

執筆：総務部
大川 弘美

2)「スコブル社」

南口をさらに下ったところにある深夜までやっている古書店です。ここは百聞は一見にしかず！平積みにならず高く積まれた本の山、山。カルチャー系が充実しており手に取ってみたい本があっても、うかつに下の本を引き抜くことはできません!!奥のカウンターでは“ひとりグーグル”と呼ばれる店主とお客さんが、お茶を飲みながら話し込んでいたりします。

3)信愛書店

やはり南口にある「西荻カルチャーの総本山」と一部で呼ばれている本屋さんです。決して本の数は多くありませんが、その選択にはお店の心意気を感じます。新刊書店でもあり、古書も扱っているという旋破りです。「効率の悪い棚をもつことで店の持ち味や魅力につながる」という店主のお話を何かで読みました。本来、趣味とはそういった遊び心に支えられたものではないかと感銘しました。本だけでなく雑貨も楽しめる大好きな本屋さんです。

週末ふらりとしたい時は西荻窪で、お気に入りの場所を探してみてくださいはいかがでしょうか？



The 集客



「出荷台数がPCを上回る」「スマホ経由のインターネット通販が急増」など耳にされていると思います。

このようなニュースを聞くと、「やっぱりスマホで何かやらなければ」とお考えになる方も多いのではないのでしょうか。

新しいアプリを作る。サービスを作る。といったことの前に、まずは自社の Web サイトをスマホ最適化してはいかがでしょうか？

これは、かつての携帯サイトのように、スマートフォンから来たお客さまだけをスマートフォンサイトに自動誘導します。スマホサイトは、PC用の Web サイトを基にしてシンプルに作ります。

まずスマホサイトとPC用サイトとの大きな違いは、

- ・画面サイズが小さいこと
- ・画面を縦長で見ること
- ・クリックを指ですること 等です。

そこで対策として

- ・サイドメニューやヘッダのタブなどを削除して下に持っていく。
- ・大きな画像は使わない。
- ・指で押せるようにリンクやボタンの間に空白のスキマ幅を作る

となります。

また、FLASH はスマホでは再生されないので止める、あるいはHTML5 で作り直す必要があります。

当社では、これまで、ホームページ制作時には、必ずCMS(注1)のMovableType を使ってきました。こういったツールを使っていると、スマホのサイトも比較的簡単に対応することができます。

当社のスマホサイトをご覧ください。

<http://www.ilovex.co.jp>

※もったトップページと一部だけが最適化されていますが、今後、次々に最適化していきます。

注1 Content Management System の略。コンテンツ管理システム。

編集後記



ちょっと前に代表の杉山が発売当初に購入し、会社の給湯室で眠っていた GOPAN(ホームベーカリー)。しばらく使っていなかったため、個人的にパン焼き始めました!材料をセットするだけで、おいしい焼き立てパンができるので、ちょっと最近ハマっています。

WEB コンサル部 yamada

ilovex MAGAZINE 通信

アイロベックスが月1でお届けしている広報誌

クラウドおすすすめ隊!
Salesforce お助け隊&GoogleApps 推進隊登場!

緊急対談! まだまだめんどくさいことしてませんか?
イマドキのリモートメンテナンス後編

愛してやまない私の地元
杉並区西荻窪をご紹介します!

*** 社長のひとこと ***

デジタルデバインド

デジタルデバインドという言葉があります。

「パソコンやインターネットなどの情報技術 (IT) を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる、待遇や貧富、機会の格差」※1 という意味ですが、今や、使いこなせるかどうかは最低限のことになってきた感があります。

そんな中、意外なことに大企業で仕事をしている人や、社長、お金持ちのほうが、新しいソフトやアプリ (特に無料のもの) を知らないのではないかと感じます。

同様に、ソフトウェア開発業者だから、IT 業者だからといって、IT について詳しいわけではないことに驚きです。

だからこそ、自戒の意味として、常に「無知の知」であることを意識して努力する必要があるのです。そういった意味でも、「アイロベックス通信」は、専門的に特化するのではなく、「お金を掛けなくても、苦勞をしなくてもこんなことができるのです」ということを、分かり易く伝えていきたいと思っています。

※1 IT用語辞典 e-Words から引用



代表取締役社長 杉山 淳子

イマドキのリモートメンテナンス 座談会【後編】

執筆：中村 千穂、八田 忍、西槇 正俊

…2月号【前編】からの続き

中村

外部からメンテナンスする方法として Live Mesh があることはわかったけど、もう一つの方法ってなに？

西槇

お客様の事務所内に Linux のサーバがあって、インターネットには繋がっていたのですが、インターネット上に公開されていないため当社から接続できずに、ちょっと困ったことがありました。

ファイアウォールの設定を変更し、弊社向けにリモートメンテナンスのポートを公開していただくかと検討しました。

でも、ネットワークの設定変更するには別の業者に依頼する必要があり、お金がかかってしまいます。

そんな時に思い付いたのが、SSH ポートフォワードという技術です。これはお客様側のサーバで SSH に使用するポートを解放しなくていいんです。細かい手順はちょっと難しい話になるのでここでは話ませんが、インターネット上に公開されているサーバを1台準備します。

お客様に公開サーバに対して SSH でログインしていたら、弊社も同じく公開サーバに対して SSH でログインすることにより(公開サーバを中継して)弊社からお客様のサーバに接続できるんです。

中村、八田

へえ〜。(同時)

中村

お客様のネットワークの設定を変更せず、VPN ルーターを導入しなくてもリモート接続できるのはいいね。保守にあまりお金をかけられないお客様もいるわけだし。

八田

私の担当しているお客様に、インターネットにつなげられないサーバなので ISDN で VPN 接続しているお客様がいます。

中村

ふ〜ん。そういうお客様もいるんだね。

八田

10年くらいその構成で保守していますね。お客様にデスクトップにあるアイコンをダブルクリックしてもらうことで、接続できるようになっています。西槇君のいう SSH ポートフォワードは簡単に接続できるの？

中村

お客様側にシステム担当がいなかったら、難しい方法じゃ困っちゃうよね。

西槇

私も同じように、デスクトップにショートカットを作っておいて、お客様にダブルクリックしていただくだけで、SSH 接続できるようにしています。あまり難しい作業だったり手順が複雑ですと、忙しいお客様には頼みにくいですからね。

中村

へえ〜。無料でいろいろできるんだね。勉強になったわ。似たようなもので、有料のツールもあるの？なんかもっとすごい機能がつかとか？

西槇

インストール型のツールで有料なものとしては、TeamViewer や LogMeIn があります。あらかじめツールをインストールしておけば、権限の設定やログインできるユーザーを特定することができます。他にもチャット機能がついているので、メッセージのやり取りができたり機能が盛りだくさんです。

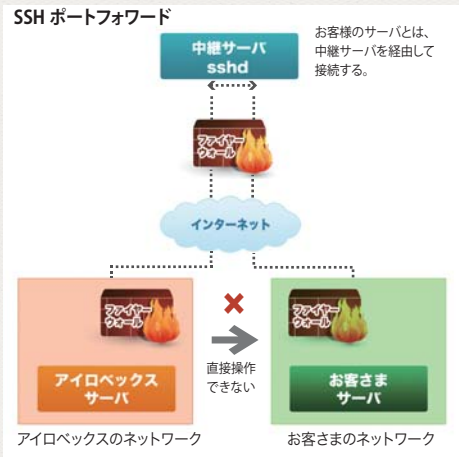
詳しいことはサービスのサイトをご覧ください。最近では、スマートフォン用のアプリも用意されているので、外出先から会社のパソコンにアクセスすることもできます。

ツールをあらかじめインストールしなくてよいものとしては、NTRSupport などがあります。

これは、お客様がブラウザからサービスサイトにアクセスして、発行された認証キーを入力することにより、当社からお客様のパソコンを操作できるようになります。

中村

いろいろツールやサービスがあるんだ。今使っている方法だけじゃなくて、もっと新しいことをお客様に提案できるように勉強しないとね。



クラウドおすすすめ隊



先月、突如として現れた「クラウドおすすすめ隊」。

今月号では、Salesforce お助け隊の隊長マーシャル加藤と、GoogleApps 推進隊の隊長クロードゆかりがサービス内容をご紹介します！

Saledforce お助け隊 突撃隊長：マーシャル加藤

■Salesforce とアイロベックス

弊社では、Salesforce を自社で導入し、顧客管理を行っています。以前は、自社で作成した独自の顧客管理システムを利用していました。会社の成長と共に、システムの改修を繰り返していたのですが、どうしても後回しになっていました。

ある時、Saledforce の可能性や汎用性に気づき、自社で Salesforce の導入に踏み切りました。その経験を活かして、お客さまにも Salesforce の提案を行ってきました。

<弊社の Salesforce を利用したシステムの導入実績>

- ・セミナー管理、書籍などの販売管理と顧客管理を連動したシステム(コンサルティング会社さま向け)
- ・販売管理と顧客管理を連動したシステム(不動産会社さま向け)
- ・イベント・セミナー管理と顧客管理を連動したシステム(公共機関向け)
- ・お問い合わせ管理と顧客管理を連動したシステム(転職エージェント会社さま向け)etc

また、Salesforce の導入や開発の QA を「Salesforce お助け隊」というブログで公開しており、この2月より新たに同名の Salesforce 導入支援サービスを開始しました。

GoogleApps 推進隊 突撃隊長：クロードゆかり

GoogleApps(グーグルアプス)とはなんでしょうか。簡単に言ってしまうと、インターネット上で使えるオフィスソフトの事です。オフィスソフトといえば、Microsoft Office があり、文書作成ソフトの Word、表計算ソフトの Excel、プレゼンテーションソフトの PowerPoint が有名です。

今までの Office は、パソコンにソフトをインストールしないと使えないため、限られた環境の中でしか使うことができませんでした。それに対して GoogleApps は、インターネットさえ使えれば、会社でも自宅でもどのパソコンからでも使うことができます。また、パソコンに限らず、スマートフォンでも使うことができます。

今回は、GoogleApps の中でも、Excel や Word に近い、GoogleDocument についてご紹介します。Excel の場合、編集できるのは「常に一人」で、他の人は読み込み専用となり書き込みができません。

ここで、Salesforce の特徴を改めてご紹介します。

◎メリット

- ・簡単な操作(クリックだけ)で項目の追加や項目名の変更ができる
- ・プログラミングしなくても、カスタマイズができる
- ・カスタマイズによって検索が遅くならない(画期的!)

×デメリット

- ・画面の見栄え、操作性がイマイチ
- ・少し凝ったことをするにはプログラミングが必要で、またそれが容易ではない
- ・機能が多すぎるので、何ができて何ができないのかが分かりにくい

そこで「Salesforce お助け隊」サービスのご案内です。

1. Salesforce をお客様の社内に定着させ、活用するためのご支援をさせていただきます。
2. 弊社の担当者が出張し、お客様の業務にマッチした利用方法をピンポイントでアドバイスいたします。
3. Salesforce を利用したシステムのカスタマイズを請け負います。

「Salesforce お助け隊」のスローガンは、「Salesforce で顧客管理を支援する」です。ご興味がありましたら、お気軽にご相談ください。

しかし、GoogleDocument は「複数人」が「同時」に編集できます。また、編集した内容は画面に即座に反映され、常に同期されます。

さらに、「誰が」「いつ」変更をしたのか、という履歴が自動で残るようになっており、いつでも昨日の状態や、修正前の状態を確認することができます。

そのため、「間違っって消してしまった!!」というときにも履歴を確認して元に戻すことができます。(※ファイルを保存、または自動保存されたタイミングに限りです。)

また、ファイルが変更されたタイミングでメールを送ることもできます。

ただし、凝ったデザインの適用や、マクロの使用など、Office ではないことができないという面もあります。それぞれ適材適所で併用していくのが賢い使い方でしょう。

誰かと文章を共有して推敲を重ねたり、リアルタイムで確認をしたいときに GoogleDocument を利用するのがよいと思っています。

まだまだ GoogleApps の機能はこんなものではありません! 疑問質問ありましたら、なんでもクロードゆかりこと牧野までお問い合わせ下さい!



Saledforce お助け隊
突撃隊長：マーシャル加藤

ビジョン：セールスフォースで顧客管理を支援する
趣味：空手道 世界中を訪れます
好きな食べ物：パッパカリー



アイロベックスでも導入している Chatter では、人、グループ、ドキュメント、アプリケーションデータがリアルタイムで更新され、社内のあらゆる最新情報を把握できる。



GoogleApps 推進隊
突撃隊長：クロードゆかり

ビジョン：情報共有こそ、わが使命
趣味：スキューバダイビング
好きな食べ物：アボカド



どこからでも効率良く、モバイルからでもコミュニケーション、管理できます。



連携作業でアイデアの共有、迅速な作業をすることができます。